



## 2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月14日

上場会社名 久光製薬株式会社 上場取引所 東・名・福  
 コード番号 4530 URL <https://www.hisamitsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中富 一榮  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員広報・IR担当 (氏名) 高尾 信一郎 (TEL) 03-5293-1704  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月14日 配当支払開始予定日 2021年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	58,551	10.6	5,706	3.5	6,836	23.9	5,002	35.4
2021年2月期第2四半期	52,926	△16.5	5,516	△45.9	5,519	△48.1	3,693	△51.1

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期10,156百万円( 80.6%) 2021年2月期第2四半期5,625百万円( 533.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	61.20	61.16
2021年2月期第2四半期	45.22	45.16

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	309,583	260,536	83.6
2021年2月期	299,861	253,809	84.1

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 258,686百万円 2021年2月期 252,066百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	41.75	—	41.75	83.50
2022年2月期		42.00			
2022年2月期(予想)			—	42.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,900	7.3	10,700	0.3	12,700	7.4	9,900	7.0	121.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	85,164,895株	2021年2月期	85,164,895株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	3,426,856株	2021年2月期	3,430,483株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	81,736,248株	2021年2月期2Q	81,680,265株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予想には、不確実な要素が含まれ、変動する可能性があります。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して異なる可能性もあります。
- ・当社は、2021年10月14日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は以下の通りです。売上高は増収、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益はともに増益となりました。

## &lt;売上高&gt;

売上高は、585億5千1百万円(前年同四半期比10.6%増)となりました。

国内市場において、医療用医薬品事業は、今年度に初めて実施された薬価の中間年改定や、継続的な後発品使用促進策による影響を引き続き受けましたが、経皮吸収型ドパミン作動性パーキンソン病治療剤「ハルロピ®テープ」の売上が伸長したことや、デジタルマーケティングを効果的に活用したことに加え、2020年4月の全国を対象とした緊急事態宣言下における受診抑制の反動もあり、前年同四半期比6.6%の増収となりました。なお、経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤「ジクトル®テープ」は2021年3月に製造販売承認を取得し、同年5月に販売を開始しました。また、経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」は2021年8月に小児がん疼痛患者への適応拡大に関する承認事項一部変更承認を取得しました。

一般用医薬品事業は、店頭・デジタルマーケティングの双方を活用した効果的な販促活動を行い、主力商品の「サロンパス®」や「フェイタス®」シリーズ、「アレグラ®FX」が売上を伸ばしたこと等により、前年同四半期比17.1%の増収となりました。また、2021年8月には新パッケージ「のびのび®サロンシップ®フィット®」を発売しました。この商品は、当社初の新パッケージを採用した商品（ポケシップ®）で、ESG推進の一環として、当社従来品に比べパッケージのサイズを縮小し、包材使用量を低減することで地球にやさしい「エコ&コンパクト」パッケージを実現しました。

一方、海外市場において、医療用医薬品事業は、米国で後発品の影響を受けたものの、その他の地域では売上を伸ばし、前年同四半期比1.2%の増収となりました。一般用医薬品事業は、一部地域において新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けたものの、米国及びアジアを中心としたその他の地域で売上を伸ばし、前年同四半期比21.1%の増収となりました。

## 〔地域別売上高〕

(単位：百万円)

		2021年2月期 第2四半期実績	2022年2月期 第2四半期実績	増減額	増減率
売上高		52,926	58,551	+5,624	+10.6%
医療用医薬品	日本	25,377	27,061	+1,684	+6.6%
	海外	6,741	6,824	+82	+1.2%
	米国	5,066	4,651	△414	△8.2%
	その他地域	1,675	2,172	+497	+29.7%
一般用医薬品 ・ その他	日本	8,856	10,370	+1,513	+17.1%
	海外	10,622	12,862	+2,239	+21.1%
	米国	5,966	7,258	+1,292	+21.7%
	その他地域	4,656	5,603	+947	+20.3%
その他事業	日本	1,328	1,432	+103	+7.8%

なお、前連結会計年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日外国人の大幅な減少によるインバウンド需要の消失など、営業収益等の減少の影響を受けています。

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、ワクチン接種が進行すること等による各地域での感染拡大の収束、経済活動再開に伴い当社グループの需要は今後も徐々に回復していくものと想定しています。

#### <利益>

営業利益は、57億6百万円(前年同四半期比3.5%増)となりました。その主な要因は、売上の増加に伴い売上総利益が増加したことによるものです。なお、販売費及び一般管理費につきましては、販促活動の増加により297億2千3百万円(前年同四半期比6.8%増)となりました。

経常利益は、68億3千6百万円(前年同四半期比23.9%増)となりました。その主な要因は、営業利益の増加に加えて、為替差損が為替差益に転じたことによるものです。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、50億2百万円(前年同四半期比35.4%増)となりました。その主な要因は、経常利益の増加に加えて、投資有価証券売却益を計上したことによるものです。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表の概要は以下の通りです。

#### <資産、負債、純資産の状況>

総資産は、前連結会計年度末と比較して97億2千2百万円増加し、3,095億8千3百万円となりました。主な増減は、現金及び預金(114億2千7百万円増)及び受取手形及び売掛金(54億4千3百万円減)です。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して29億9千5百万円増加し、490億4千6百万円となりました。主な増減は、未払法人税等(13億5千5百万円増)及びその他流動負債(15億5百万円増)です。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して67億2千6百万円増加し、2,605億3千6百万円となりました。主な増減は、利益剰余金(15億9千4百万円増)及び為替換算調整勘定(42億7千8百万円増)です。

#### <キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して60億4千1百万円増加し、973億9千5百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは146億6千3百万円の収入(前年同四半期は41億5千6百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益(71億6千8百万円)、売上債権の減少額(61億5千9百万円)、たな卸資産の減少額(12億9千9百万円)などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは71億6千4百万円の支出(前年同四半期は81億9千8百万円の収入)となりました。これは主に、定期預金の預け入れによる支出(48億2百万円)、有形固定資産の取得による支出(22億1千6百万円)などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは35億7千2百万円の支出(前年同四半期は36億1千2百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額(34億1千3百万円)などによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回発表時(2021年4月8日)の予想を変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	114,254	125,682
受取手形及び売掛金	39,546	34,102
有価証券	21,743	22,763
商品及び製品	11,359	10,111
仕掛品	465	569
原材料及び貯蔵品	6,744	6,867
その他	4,290	6,349
貸倒引当金	△343	△385
流動資産合計	198,061	206,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,180	13,940
その他（純額）	23,174	24,427
有形固定資産合計	37,354	38,368
無形固定資産		
販売権	27	17
その他	1,150	1,485
無形固定資産合計	1,178	1,503
投資その他の資産		
投資有価証券	54,602	54,948
その他	8,878	8,916
貸倒引当金	△214	△214
投資その他の資産合計	63,267	63,651
固定資産合計	101,800	103,522
資産合計	299,861	309,583

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,672	7,875
電子記録債務	7,127	5,836
短期借入金	1,111	1,111
未払法人税等	608	1,964
返品調整引当金	103	116
賞与引当金	1,350	1,229
その他	12,082	13,588
流動負債合計	30,057	31,722
固定負債		
長期借入金	296	254
退職給付に係る負債	7,928	8,064
その他	7,769	9,004
固定負債合計	15,994	17,324
負債合計	46,051	49,046
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,473	8,473
資本剰余金	2,352	2,356
利益剰余金	233,376	234,971
自己株式	△11,495	△11,484
株主資本合計	232,707	234,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,165	17,026
土地再評価差額金	3,790	3,784
為替換算調整勘定	△1,173	3,105
退職給付に係る調整累計額	575	451
その他の包括利益累計額合計	19,359	24,369
新株予約権	232	234
非支配株主持分	1,510	1,614
純資産合計	253,809	260,536
負債純資産合計	299,861	309,583

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
売上高	52,926	58,551
売上原価	19,577	23,120
売上総利益	33,349	35,430
販売費及び一般管理費	27,833	29,723
営業利益	5,516	5,706
営業外収益		
受取利息	430	79
受取配当金	463	479
為替差益	—	526
その他	181	270
営業外収益合計	1,074	1,356
営業外費用		
支払利息	2	6
為替差損	745	—
持分法による投資損失	259	151
その他	63	67
営業外費用合計	1,071	226
経常利益	5,519	6,836
特別利益		
固定資産処分益	—	6
投資有価証券売却益	1	652
特別利益合計	1	659
特別損失		
固定資産処分損	5	48
販売中止に伴う損失	—	279
特別損失合計	5	328
税金等調整前四半期純利益	5,515	7,168
法人税等	1,702	2,022
四半期純利益	3,813	5,145
非支配株主に帰属する四半期純利益	119	143
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,693	5,002

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
四半期純利益	3,813	5,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,319	945
為替換算調整勘定	△1,574	4,273
退職給付に係る調整額	97	△129
持分法適用会社に対する持分相当額	△30	△79
その他の包括利益合計	1,812	5,011
四半期包括利益	5,625	10,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,522	10,018
非支配株主に係る四半期包括利益	102	138

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,515	7,168
減価償却費	1,934	1,974
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	159	130
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△45	31
受取利息及び受取配当金	△893	△558
支払利息	2	6
持分法による投資損益(△は益)	259	151
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	△652
販売中止に伴う損失	—	279
売上債権の増減額(△は増加)	16,843	6,159
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,661	1,299
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,239	△1,499
その他	△4,924	△1,274
小計	8,949	13,215
利息及び配当金の受取額	1,134	925
利息の支払額	△1	△6
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,200	531
役員退職慰労金の支払額	△724	△3
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,156	14,663
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	429	△4,802
有価証券の増減額(△は増加)	10,339	△503
有形固定資産の取得による支出	△2,365	△2,216
無形固定資産の取得による支出	△75	△479
投資有価証券の取得による支出	△186	△119
投資有価証券の売却による収入	2	928
その他	56	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,198	△7,164
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△20	—
長期借入金の返済による支出	△39	△41
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△3,393	△3,413
非支配株主への配当金の支払額	△115	△43
その他	△43	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,612	△3,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	△480	2,116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,261	6,041
現金及び現金同等物の期首残高	86,996	91,354
現金及び現金同等物の四半期末残高	95,258	97,395

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している海外関係会社において、ASC第842号「リース」を、第1四半期連結会計期間より適用しています。

これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。

当該会計基準の適用に伴い、第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「その他(純額)」が1,018百万円、流動負債の「その他」が210百万円、固定負債の「その他」が806百万円増加しています。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結損益計算書に与える影響は軽微です。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて)

当第2四半期連結累計期間においては、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2021年10月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について次のとおり決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由  
資本効率の向上および株主へ利益還元を推進するため
2. 取得する株式の種類  
当社普通株式
3. 取得する株式の総数  
2,000,000株(上限)
4. 株式の取得価額の総額  
12,000百万円(上限)
5. 取得期間  
2021年10月15日～2022年2月28日
6. 取得の方法  
東京証券取引所における市場買付

# 貼るを、未来へ。



Nisamitsu®



東京2020オフィシャルパートナー（外用鎮痛消炎剤）



筋肉痛・筋肉疲労などに  
第3類医薬品



肩こり・腰痛・筋肉痛に  
第3類医薬品



肩こりに伴う肩の痛み、腰痛などに  
第2類医薬品



筋肉痛・筋肉疲労などに  
第3類医薬品